



お正月遊びを楽しもう！

9時30分から

かるた・羽根つき・コマ回しなど…大人の方も子どもの時に遊んだかもしれない、なつかしいお正月の遊び道具を用意しています。



この日は入館無料！

参加費もかかりません

「七草がゆ」を食べよう！ 11時30分頃から

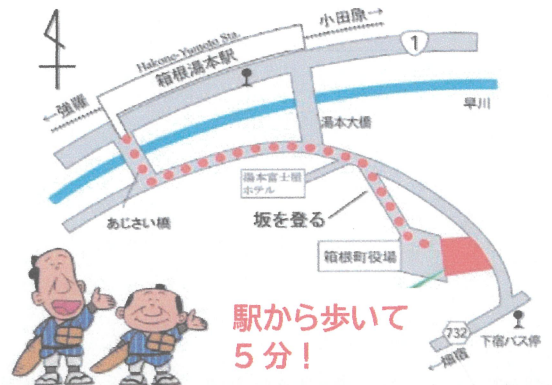
食べると1年間病気になる^{びょうき}と言われて^{ななくさ}いる「七草がゆ」。作りたてを試食^{ししょく}することができます。お餅^{もち}を入れるのが、箱根^{とくしんぐ}の特色です。



箱根町湯本 266

(箱根登山鉄道「箱根湯本」駅から徒歩5分)

TEL: 0460-85-7601 (生涯学習課)



会場：箱根町立郷土資料館

七草がゆについて知ろう

毎年1月7日に、七草^{ななくさ}をおかゆにいれた「七草がゆ」を食べる習わしは、昔から全国で行われています。

七草とは、せり、なずな、ごぎょう(ハハコグサ)、はこべら(ハコベ)、ほとけのざ(コオニタビラコ)、すずな(カブ)、すずしろ(ダイコン)のことを言います。



6日の夜には、歳神様^{としがみさま}(神棚^{かみだな})の前で、まな板に七草をのせ、

♪ ナンナンナナクサ、七草なずな

唐土^{とうど}の鳥と、日本の鳥と、渡^{わた}らぬ先に、

合わせてバタバタ…♪

と「おまじない」をとなえながら、包丁^{ほうちよう}とすりこぎ棒^{ぼう}で、七

草をたたいたそうです。

この「おまじない」は正月に、田んぼや畑の作物を食べ^{ほうさく}てしまう鳥を追^{とり}いはらい、豊作を願^{とりお}う「鳥追い」の行事が変化^{へんか}したものと考えられています。

7日には、七草^{としがみさま}を歳神様におそなえた後、おかゆに入れます。箱根では、七草がゆの中におもちを入れる点^{ちまき}が、ほかと変わっています。そして、このおかゆを食べると、1年間病^{むびようそくさい}気にならない(無病息災)と言われています。

